

第 4 回技術委員会以降の技術指針マニュアルの修正箇所新旧対照表

新	旧
<p>1 総論</p> <p>ア 1-1 (3) 影響要因及び環境要素の抽 0-9ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の一部として、…又は対象事業の実施後、当該対象事業の目的に含まれる工作物の撤去若しくは廃棄が行われることが予定される場合（例えば、試験研究プラントで特定の期間の後に撤去される場合、太陽光発電所で一定期間の稼働後に太陽光パネル等が撤去・廃棄される場合など）…。 <p>イ 4-3 低減の考え方及び手法例 0-32ページ</p> <p>＜発生した影響の軽減又は消失＞のイメージ図を修正</p> <p>事業計画</p> <p>保全すべき環境 重大な影響を受けるおそれのある環境 影響を受けた部分</p> <p>継続的な保護活動、維持活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業の一部として、…又は対象事業の実施後、当該対象事業の目的に含まれる工作物の撤去若しくは廃棄が行われることが予定される場合（例えば、試験研究プラントで特定の期間の後に撤去される場合など）…。 <p>事業計画</p> <p>保全すべき環境 重大な影響を受けるおそれのある環境</p> <p>継続的な保護活動、維持活動</p>
<p>ウ 4-4 代償の考え方及び手法例 0-33ページ</p> <p>代償のイメージ図を修正</p> <p>事業計画</p> <p>保全すべき環境 重大な影響を受けるおそれのある環境 代用的な環境</p>	<p>事業計画</p> <p>保全すべき環境 重大な影響を受けるおそれのある環境 代用的な環境</p>

新	旧									
<p>エ 影響要因-環境要素関連表 0-46ページ 以下のとおり新たな影響要因を追加した。</p> <table border="1" data-bbox="129 217 1039 336"> <tr> <td></td> <td>工作物の撤去・廃棄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>供用終了後の影響</td> <td>工作物の撤去・廃棄後の緑化</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(その他必要に応じて追加)</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 水質</p> <p>ア 6-1 前提 (2) 環境要素 6-1ページ 資料4-2のとおり修正した。</p> <p>イ 6-1 前提 (2) 環境要素 6-3ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活環境の保全に係る項目は、河川、湖沼における利水、水域の利用、自然環境の保全等の水域の特性に応じて、有機汚濁や濁り、富栄養化等に係る項目および水生生物の保全に係る項目の基準が設定されている。環境影響評価において、将来の状態の予測は、これらの項目が中心となる。 <p>3 植物</p> <p>ア 侵略的外来種（植物）に係る記載を追加した。</p> <p>(ア) 11-2 予備調査 (2) 予備調査の項目 11-2ページ</p> <p>① 植物相の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物相を特徴づける主要な植物種（侵略的外来種（植物）を含む。）、既存文献等による植物種リストの作成等 <p>(イ) 11-2 予備調査 (4) 予備調査の方法 11-3ページ</p> <p>① 植物相の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存文献等の整理・解析（主な既存文献等は以下のとおり） <ul style="list-style-type: none"> 生態系被害防止外来種リスト（環境省） <p>(ウ) 11-5 予測 (2) 予測地域及び予測地点 11-15ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物相、植生、保全機能は調査地域全域とし、注目すべき個体、集団、種及び群落についての予測は、それぞれの対象の分布地を予測地点とする。また、必要に応じて、侵略的外来種（植物）の分布地についても予測地点とする。 <p>(エ) 11-6 環境保全措置 11-18ページ</p> <p>2 低減</p> <ul style="list-style-type: none"> 侵略性外来種（植物）については、土地造成の前後で周辺区域に広がらないように適切に除去する。 		工作物の撤去・廃棄		供用終了後の影響	工作物の撤去・廃棄後の緑化			(その他必要に応じて追加)		<p>・ 生活環境の保全に係る項目は、河川、湖沼における利水、水域の利用、自然環境の保全等の水域の特性に応じて、有機汚濁や濁り、富栄養化等に係る項目の基準が設定されている。環境影響評価において、将来の状態の予測は、これらの項目が中心となる。</p> <p>① 植物相の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物相を特徴づける主要な植物種、既存文献等による植物種リストの作成等 <p>① 植物相の概要</p> <p>○ 既存文献等の整理・解析（主な既存文献等は以下のとおり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物相、植生、保全機能は調査地域全域とし、注目すべき個体、集団、種及び群落についての予測は、それぞれの対象の分布地を予測地点とする。 <p>2 低減</p>
	工作物の撤去・廃棄									
供用終了後の影響	工作物の撤去・廃棄後の緑化									
	(その他必要に応じて追加)									

新	旧																																																																																												
<p>(オ) 11-7 評価 (2) 評価の方法 11-18ページ</p> <p>② 環境保全のための目標等との整合の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系被害防止外来種リストに掲載されている侵略的外来種 (植物) <p>イ 11-3 スコーピング 11-5ページ</p> <p>植物相、植生の概略の影響検討の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ただし、農地であっても自然性が保たれている水辺や半自然草地、耕作放棄地がある場合は重点化について検討を行う。 <p>ウ 11-4 調査 (2) 調査の方法 11-7ページ</p> <p>② 調査の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象は、種子植物及びシダ植物を基本とし、自生種だけでなく、環境の状況の把握のため、外来植物についても実施する。 <p>エ 11-5 予測 (4) 予測の方法 11-16ページ</p> <p>植生変化予測表について、以下のとおり修正した。</p> <p>例 植生変化予測表</p> <table border="1" data-bbox="129 671 1050 911"> <thead> <tr> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="2">現況</th> <th colspan="2">工事実施後</th> <th rowspan="2">増減面積</th> <th rowspan="2">変化率</th> </tr> <tr> <th>面積</th> <th>占有率</th> <th>面積</th> <th>占有率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※占有率は全体の面積に対する各群落の分布の割合を示す。</p>	群落名	現況		工事実施後		増減面積	変化率	面積	占有率	面積	占有率																													合計							<p>② 環境保全のための目標等との整合の観点</p> <p>植物相、植生の概略の影響検討の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ただし、農地であっても自然性が保たれている水辺や耕作放棄地がある場合は重点化について検討を行う。 <p>② 調査の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象は、種子植物及びシダ植物を基本とし、自生種だけでなく、環境の状況の把握のため、帰化植物についても実施する。 <p>参考 植生変化予測表</p> <table border="1" data-bbox="1122 671 2020 911"> <thead> <tr> <th rowspan="2">群落名</th> <th colspan="2">現況</th> <th colspan="2">工事実施後</th> <th rowspan="2">増減面積</th> <th rowspan="2">変化率</th> </tr> <tr> <th>面積</th> <th>占有率</th> <th>面積</th> <th>占有率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	群落名	現況		工事実施後		増減面積	変化率	面積	占有率	面積	占有率																																			
群落名		現況		工事実施後				増減面積	変化率																																																																																				
	面積	占有率	面積	占有率																																																																																									
合計																																																																																													
群落名	現況		工事実施後		増減面積	変化率																																																																																							
	面積	占有率	面積	占有率																																																																																									
<p>3 動物</p> <p>侵略的外来種 (動物) に係る記載を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 12-2 予備調査 (2) 予備調査の項目 12-2ページ ① 動物相の概要 <ul style="list-style-type: none"> 動物相を特徴づける主要な動物種 (侵略的外来種 (動物) を含む。)、既存文献等による動物種リストの作成等 12-2 予備調査 (4) 予備調査の方法 12-3ページ ① 動物相の概要 <ul style="list-style-type: none"> 既存文献等の整理・解析 (主な既存文献等は以下のとおり) 生態系被害防止外来種リスト (環境省) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 動物相の概要 <ul style="list-style-type: none"> 動物相を特徴づける主要な動物種、既存文献等による動物種リストの作成等 ① 動物相の概要 <ul style="list-style-type: none"> 既存文献等の整理・解析 (主な既存文献等は以下のとおり) 																																																																																												

新							旧							
4 生態系 13-5 予測 (4) 予測の方法 13-13ページ 環境単位の改変量に係る表について、以下のとおり修正した。 例 環境単位の改変量							参考 環境単位の改変量							
環境単位・類型 (指標種の生息地※)	調査地域			事業実施区域			環境単位・類型 指標種の生息地	調査地域			事業実施区域			
	現況	工事 実施後	改変量 (改変率)	現況	工事 実施後	改変量 (改変率)		現況	工事 実施後	改変量 (改変率)	現況	工事 実施後	改変量 (改変率)	
※相互関係について指標種による影響を予測する場合は、指標種の生息地・生育地について同様に整理する。														